



みなとしみず

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎港事務所/下田港事務所
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 0543-52-4146

平成17年度 港湾整備事業内容・予算

平成17年度より田子の浦港の新規事業に着手することになり、当事務所が整備する港湾は4港となりました。今年度の当事務所が実施する港湾整備事業費は下表のとおり、約41億円となっています。

平成17年度港湾整備事業費

(単位：百万円)

港名	地区	整備目的	事業費
清水港	新興津地区	国際海上コンテナターミナル関連施設整備	1,500
御前崎港	女岩地区	港内静穏度確保の防波堤整備	850
田子の浦港(新規)	中央地区	多目的国際ターミナル関連施設整備	700
下田港	下田地区	船舶の避難と津波対策の防波堤整備	1,020
合計			4,070

今年度、清水港では平成15年7月に供用開始された新興津国際海上コンテナターミナル(-15m)のある新興津地区において、港内の静穏度を確保するため防波堤整備と泊地を確保するための浚渫を推進します。また、外港地区において、検疫錨地等への反射波対策として外港防波堤前面の改良を推進します。

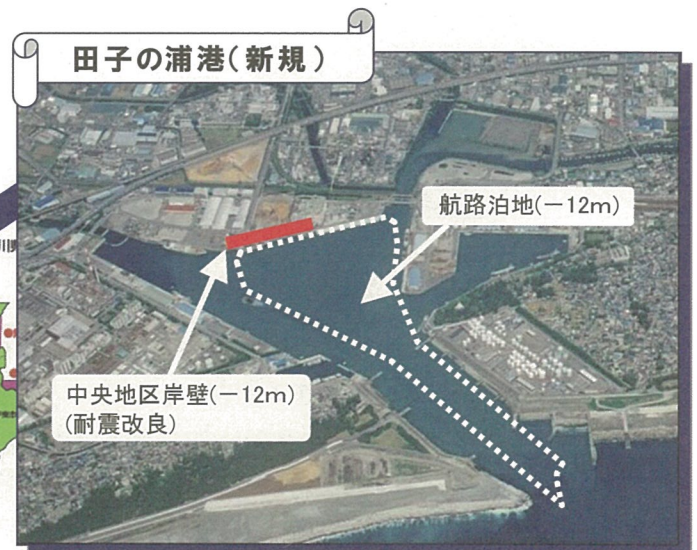
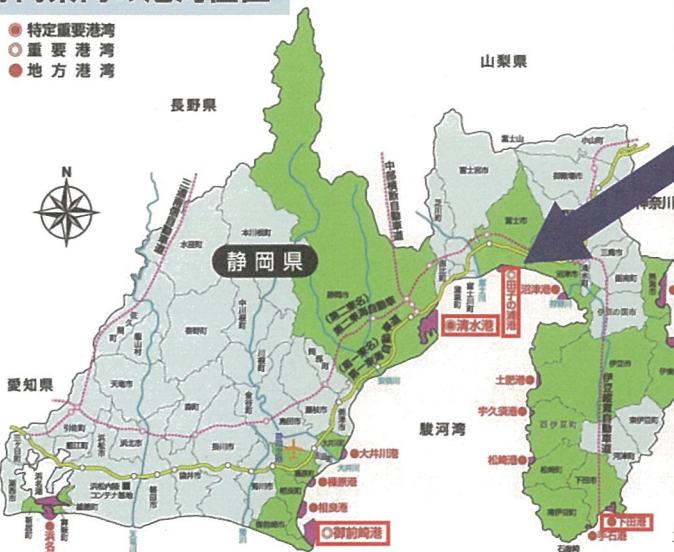
御前崎港では平成16年1月に供用開始された御前崎多目的国際コンテナターミナル(-14m)のある女岩地区において、港内静穏度を確保するため防波堤(東・西)整備を推進します。

田子の浦港は今年度より、船舶の大型化などに対応するため、多目的国際ターミナル関連施設整備として、航路泊地の増深改良(-9m⇒-12m)及び中央地区岸壁(-12m)の調査、設計を行います。

下田港は避難港に指定されており、避難船舶を守るため防波堤整備を推進します。また、近い将来予想される大規模地震に対する津波防波堤として背後の住民、財産を津波から守る機能も兼ね備えています。

静岡県内の港湾位置

- 特定重要港湾
- 重要港湾
- 地方港湾



平成17年4月1日現在

下田開港記念日に佐藤所長が講演

下田開港記念日の講演会が3月31日(木)下田市市民文化会館で行われ、佐藤清水港湾事務所長が「下田港の将来 ～みなとまち下田のこれから～」と題し、下田港を中心とした今後のまちづくりについて講演を行いました。

講演では、下田市を訪れる観光客の経年変化や動態分析のほか、全国における「みなとまちづくり」の成功事例を紹介しながら、下田の歴史や資産を活かしたこれからの「みなとまちづくり」についての考察を述べ、また当事務所が進めている防波堤整備が津波被害の軽減効果を有するなど下田のまちづくりにも貢献していることも併せて話しました。



御前崎港に韓国航路のコンテナ船が初入港



4月14日(木)に御前崎港では3航路目となる定期コンテナ船が女岩地区多目的国際ターミナルに初入港し、石原御前崎市長をはじめ多くの港湾関係者が出席して歓迎式典が行われました。

今回入港したのはリバティー・スピリット号(約5,000トン)で、主に二輪車部品を積み、御前崎→川崎→博多→釜山(韓国)→神戸→御前崎と巡り、毎週水曜日に入港予定となっています。

なお、御前崎港ではこれまでにマニラ(フィリピン)・ジャカルタ(インドネシア)を寄港地とする航路と、シンガポール・レムチャバン(タイ)などを寄港地とする航路が就航しています。



クリスタルハーモニーが清水港に寄港

世界最高級のクルーズ船「クリスタルハーモニー」(49,400総トン、全長241m、全幅29.6m、定員940名)が4月26日(火)に入港しました。

今回で3回目の寄港となったこの客船は、来春、「飛鳥II」に改装されることになっており、「クリスタルハーモニー」として寄港するのは今回で最後となりました。



当日は日の出埠頭で歓迎式典が催され、船長らに花束贈呈の後、市内の小学生達が踊りで歓迎をすると、乗客の皆さんは法被姿で踊る小学生達をカメラに収めていました。

また、この豪華客船を一目見ようと市民の方も集まり、乗客の皆さんと身振り手振りで話をし、国際交流を楽しんでいる姿も見られました。



24年ぶりに清水港に大型船が入港

5月15日(日)にオーストラリアからLNG(液化天然ガス)を運搬してきた「エネルギーアドバンス」(119,233総トン、全長289.5m)が清水港に入港しました。総トン数11万トンを超す大型船が入港したのは24年ぶりになり、今年から年に1回入港します。

この日は初入港を祝って清水港管理局などから船長らに記念品等が贈られました。



清水港利用者懇談会を開催

5月11日(水)に当事務所会議室で清水港を利用している企業、関係団体と静岡県、静岡市などの行政機関に参加していただき、清水港利用者懇談会を開催しました。

懇談会では、袖師岸壁が飽和状態なことや船舶の大型化が進んでいることなどの現状が述べられ、新興津コンテナターミナルの第2バースの早期着工や、港内の‘うねり’に伴う荷役効率への悪影響を抑止するための防波堤の延伸など、忌憚のない積極的な発言が飛び交いました。



第66回 黒船祭

下田市内において5月20日(金)～5月22日(日)にかけて「幕末タイムスリップ開国のまちあるき」をテーマに第66回黒船祭が開催されました。

初日は市内ホテルにおいて石井下田市長をはじめとする関係者の方による日米歓迎交流会が執り行われ、来賓として松下中部地方整備副局長も出席しました。



2日目には、記念式典が行われた後、公式パレード等、市内各所でのイベントが行われ、大変な賑わいを見せていました。

最終日には、日米イカダ乗り競漕、ビーチバレー大会、綱引き大会と各会場で激戦が繰り広げられました。当事務所も日米イカダ乗り競漕に5チームをエントリーし、スピードレース部門一般女子の部で2位(4チーム中)を勝ち取りました。

第66回黒船祭は初日から最終日まで大いに賑わい無事3日間の祭りの幕を閉じました。

第6回清水港フラワーショー&帆船「日本丸」寄港

5月28日(土)～29日(日)に清水マリンターミナルで“第6回清水港フラワーショー”が開催され、当事務所は清水港管理局と共同ブースを出展して清水港をPRしました。このフラワーショーは清水港の輸入促進を通して、政令指定都市「静岡市」の経済の振興や文化の向上を図る事を目的として静岡県、静岡市、清水商工会議所などで構成される清水港フラワーショー実行委員会が主催で開催しています。



また、日の出埠頭には独立行政法人航海訓練所の練習帆船「日本丸」(2,570トン)が5月26日(木)～30日(月)まで寄港しており、フラワーショー開催中の28日には帆を張る訓練「セイルドリル」の実演や29日には船内の一般公開、日没から21時まではライトアップされるなど様々な催し物があり、フラワーショーの来場者数は昨年を大幅に上回る約4万1千人と大盛況でした。



静岡県港湾整備促進大会

6月14日(火)に静岡市内において平成17年度静岡県港湾整備促進大会が盛大に開催されました。

大会では、石川静岡県知事、御巫日本港湾協会会長、井上国際港湾協会事務総長、古川静岡県土木部長のほか、中部地方整備局からも松下副局長、藤田港湾空港部長など、多数の来賓と関係者が出席する中、県港湾振興会会長の小嶋静岡市長による主催者挨拶や池谷大井川町長による決議表明などがなされ、大いに盛り上がりました。

また、藤田港湾空港部長から最近の港湾行政の動向を報告し、県内港湾の発展に向けて関係者の一層の協力をお願いしました。

みなとづくり見学会

“みなとづくり見学会”とは、地域コミュニケーション(広報広聴)活動の一環として、港に関する講座や港内を見学してもらい、地域の皆さんに広く、『みなと』の果たす役割を理解してもらうために行っているものです。

当事務所では「海の日」月間でもある7月にちなんで7月25日(月)に市民の方を対象とした“清水港みなとづくり見学会”を午前と午後の計4回、実施します。

当事務所所有の監督測量船「まさき」に乗って、普段見る機会の少ない海上から各埠頭の働きや荷役機械を間近で見学してみませんか？



〈4月～6月に実施した“みなとづくり見学会”〉

実施日	団体名
4月14日	静岡市経済局
4月21日	駿府ウエイブ
5月18日	静岡市 経済消防防災委員会
5月31日	静岡県立北養護学校 中学3年生
6月15日	静岡県立静岡農業高等学校 3年生

～清水港「みなとづくり見学会」の参加者を募集します～

実施日	平成17年7月25日(月)
時間	①9:00～ ②10:00～ ③13:30～ ④14:30～ 所要時間：1時間程度
定員	各回 20名まで
募集期間	平成17年7月11日(月)～22日(金)まで
申し込み&問い合わせ先	清水港湾事務所 企画調整課 TEL 0543-52-4148 (土・日、祝祭日を除く9時～17時まで)



事務所管内の主な動き

3/31	下田開港記念日講演会	5/13	大井川港地方港湾審議会
4/16	日露修好150周年記念式典	5/23	海の日清水港実行委員会通常総会
4/22	清水港港湾建設工事安全協議会総会	5/26	清水港利用促進協議会通常総会
4/26	クリスタルハーモニー歓迎式典		田子の浦港振興会総会
5/11	清水港利用者懇談会	6/14	静岡県港湾振興会総会・促進大会

海とみなとの相談窓口



 全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間：9時～12時、13時～17時(土・日、祝祭日は除く)

- ・海やみなとの利用に関する
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください